

# 地質情報展 2023 きょうと： ロックバルランシング体験コーナー

嶋田 侑真<sup>1)</sup>・白濱 吉起<sup>1)2)</sup>・宮嶋 佑典<sup>3)</sup>

## 1. はじめに

2023年9月16から18日に京都大学において「地質情報展 2023 きょうと」が開催されました。その中の体験コーナーの一つとして、ロックバルランシング(第1図)のブースを出展しました。同様のコーナーは、「地質情報展 2019 やまぐち」, 「地質情報展 2023 いわて」, 「つくばサイエンス コラボ 2019 科学と環境のフェスティバル」で出展してきました(北村・伊尾木, 2020; 高橋ほか, 2020; 金子ほか, 2023)。今回の出展では、来場者の方々に地質をより身近に感じていただけるよう、開催地である京都市を流れる鴨川の河川敷で採取された岩石を追加しました。

## 2. 出展の経緯と当日の様子

ロックバルランシングは、様々な形や大きさをした石を積み重ねていくレクリエーションであり、世界中で行われています。バランスよく積み重ねるには、石の形・大きさ・重さをよく観察する必要があるため、遊びながら岩石の種類・特徴について知っていただく機会として本コーナーを

設けています。

当日は、火成岩・堆積岩・変成岩を合わせて72点を用意しました。岩石は地質調査総合センターの職員が採取したものです。約半分が京都市の鴨川河川敷で採取されました。火成岩として、安山岩・玄武岩・花崗岩、堆積岩として、礫岩・砂岩・泥岩・チャートを用意しました。これまでの出展では石灰岩も用意してきましたが、他の石との接触によって削れやすく破片が散乱してしまうという問題点があったため、今回は使用を控えました。変成岩としては、広域変成岩、接触変成岩、蛇紋岩を用意しました。岩石の大きさは、長軸が約4cmのものから22cmのものまで幅広く用意しました。第1図にあるように、ジョイントマットを3m四方に敷いた上に石を並べ、来場者の方々が座りながらロックバルランシングを体験できる形にしました。著者の嶋田、宮嶋、白濱は、会場で体験をする方々への説明を行いました。

本コーナーには、お子さんから大人の方々まで幅広い年代の方々が来ていただきました。小さなお子さんは、積み上げた石の個数を数えたり、色ごとに分けて遊んだりしていました。中高生以上の方々からは、岩石の種類・産地に



第1図 ロックバルランシング体験コーナーの当日の様子

1) 産総研 地質調査総合センター活断層・火山研究部門  
2) 東京大学地震研究所 〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1  
3) 産総研 地質調査総合センター地圏資源環境研究部門

キーワード：地質情報展 2023 きょうと、ロックバルランシング

関する質問が寄せられました。特に、鴨川周辺で採取された岩石とその成り立ちについて関心を持って質問してください。来場者の方々が多くいらっしやったことが印象的でした。本コーナーは、体験時間に制限を設けていないため、スケジュールが決まっている講演会や水路実験の合間にも体験していただくことができました。

### 3. おわりに

ロックバランシング体験コーナーでは多様な岩石に直接触れて観察していただくことで、地質を身近に感じてもらう良い機会になったと思います。岩石の種類・産地についての質問が特に多かったことから、今後の展示では使用する岩石のリストを作成し、配布できるようにすることも検討していく予定です。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

### 文 献

- 金子翔平・穴倉正展・宮下由香里・利光誠一（2023）「地質情報展 2023 いわて—明日につなぐ大地の知恵—」開催報告. GSJ 地質ニュース, 12, 293-299.
- 北村真奈美・伊尾木圭衣（2020）つくばサイエンスコラボ 2019 — 科学と環境のフェスティバル —. GSJ 地質ニュース, 9, 75-77.
- 高橋雅紀・シュレスタ ガウラブ・森田啓子（2020）「地質情報展 2019 やまぐち —めくってみよう！大地の図かん—」開催報告. GSJ 地質ニュース, 9, 21-27.

---

SHIMADA Yumi, SHIRAHAMA Yoshiki and MIYAJIMA Yusuke (2024) Experience booth on rock balancing in Geoscience Exhibition in Kyoto 2023.

---

(受付：2023年11月7日)